

2018年4月期 決算説明会資料

2018年6月14日

 日本ビューホテル株式会社

(証券コード: 6097)

1	2018年4月期 業績の状況	2
2	2019年4月期 業績予想	11
3	配当と優待	15
4	補足資料	17

1

2018年4月期 業績の状況

2

2019年4月期 業績予想

3

配当と優待

4

補足資料

連結損益計算書

単位: 百万円	2017年4月期	2018年4月期	増減額	増減率
売上高	20,179	21,294	1,114	5.5 %
ホテル事業	17,116	18,365	1,249	7.3 %
施設運営事業	1,773	1,768	△ 4	△ 0.3 %
遊園地事業	1,379	1,256	△ 123	△ 9.0 %
調整額	△ 90	△ 95	△ 5	— %
営業利益	1,362	617	△ 745	△ 54.7 %
ホテル事業	1,361	602	△ 758	△ 55.7 %
施設運営事業	22	21	△ 1	△ 5.8 %
遊園地事業	△ 32	△ 17	15	— %
調整額	10	10	△ 0	△ 4.4 %
減価償却前営業利益	2,495	2,193	△ 302	△ 12.1 %
ホテル事業	2,365	2,051	△ 313	△ 13.3 %
施設運営事業	46	44	△ 1	△ 3.1 %
遊園地事業	73	87	13	18.2 %
調整額	10	10	△ 0	△ 4.4 %
経常利益	1,304	601	△ 702	△ 53.9 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 1,554	297	1,851	— %
1株当たり当期純利益 (円 銭)	△ 160.83	31.54	—	—

当連結会計年度は増収、減益

■ ホテル事業

- ・5月に札幌ビューホテル大通公園が開業、客室部門を中心に売上に寄与、レストランの新設および客室61室の増室
- ・12月に浅草ビューホテル1階ロビーフロア全面リニューアルオープン、改装工事では一部レストランの休業や22日間の全館クローズを実施
- ・高崎ビューホテルは12月31日をもって営業を終了
- ・ホテルの開業費用や大規模な設備投資費用の計上および人件費の増加
- ・東京電力からの原発事故による逸失利益の補償金56百万円を計上

■ 施設運営事業

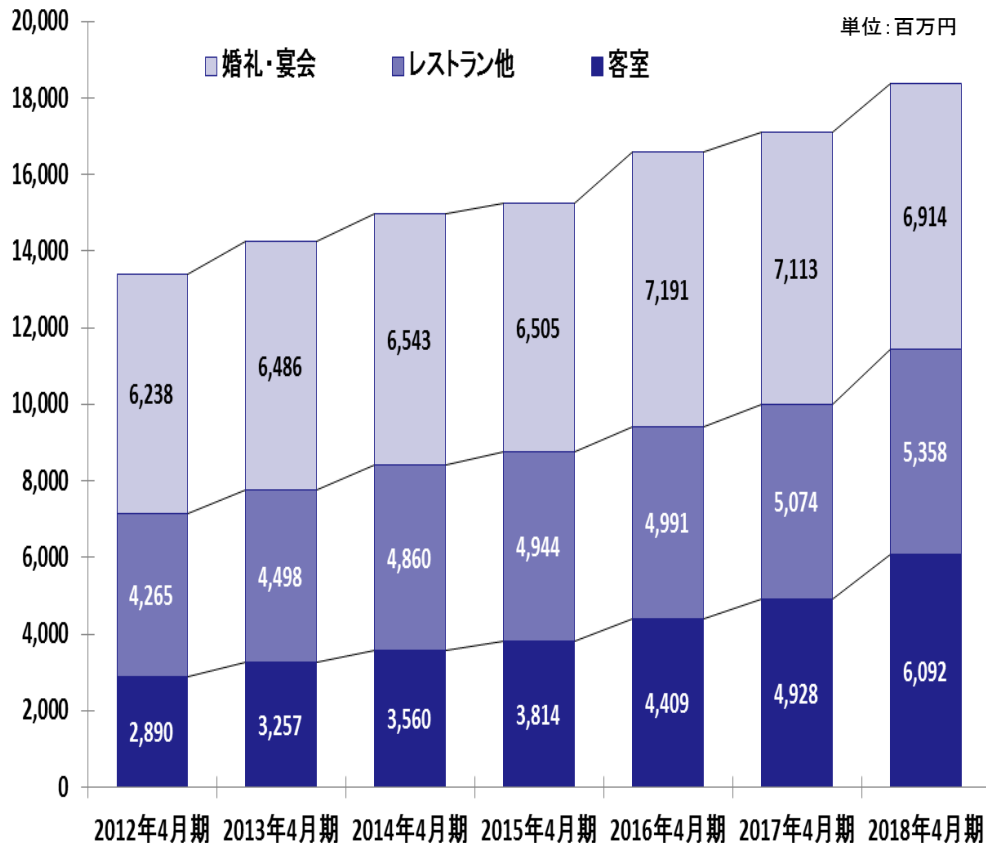
- ・一部施設が改装工事のため一カ月間全館クローズしたこともあり減収も、客室部門は堅調に推移
- ・一部レストランの営業時間の見直しなど業務の効率化を図るも、販売費等の一部経費が増加

■ 遊園地事業

- ・7月から秋にかけての天候不順や浚渫工事(湖の水抜き作業)の影響が大きく、集客に苦戦。一部施設の営業時間を見直すなど業務の効率化と経費低減を図り、営業損失額を縮小

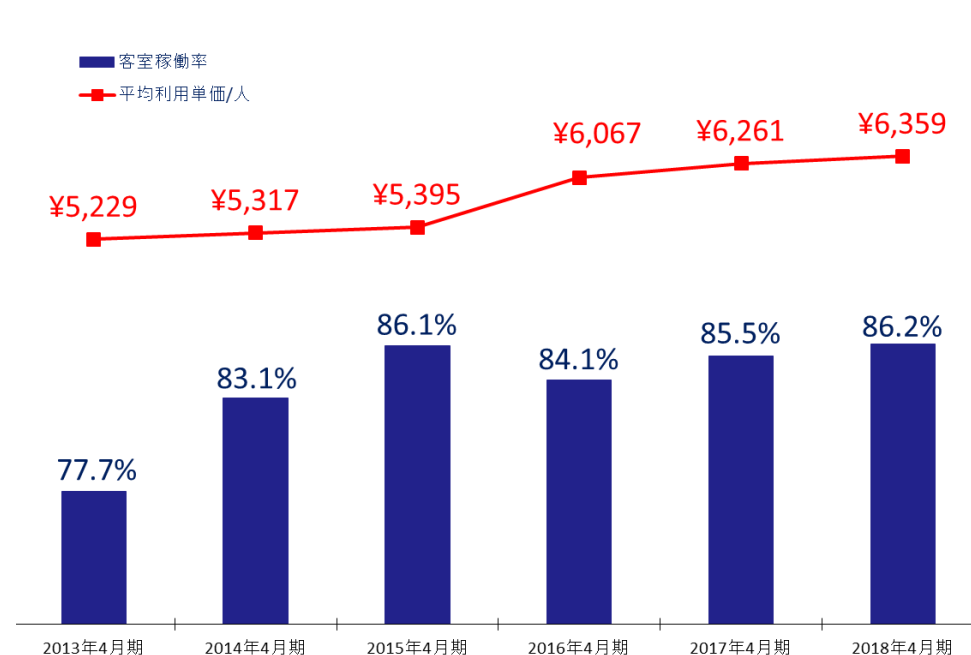
- 連結で設備投資に係る固定資産除却損281百万円を計上

ホテル事業 部門別売上の推移



- 改装による既存ホテル業績の底上げと新規出店による拡大
- 客室部門を主とする売上の拡大(2012年/4月期比+約32億円)
- レストラン他部門も新規レストランのオープンなどにより増収基調(2012年/4月期比 +約11億円)
- 婚礼・宴会部門では宴会は堅調に推移し、婚礼は高崎ビューホテルの営業終了や集客の伸びの鈍化が影響

ホテル事業 客室稼働率・利用単価



浅草ビューホテル、成田ビューホテル、秋田ビューホテル、高崎ビューホテル、伊良湖ビューホテル、両国ビューホテル、札幌ビューホテル 大通公園、ホテルビューパレス の合計

- レベニューマネジメントにより売上高の最大化を図り、高稼働を維持しながらも、利用単価上昇を継続
- ADRは2017/4期10,568円から2018/4期には11,177円に上昇

(注)ADR/1室当たりの売上金額

連結貸借対照表

	2017年4月期	2018年4月期	増減額	増減率
現金及び預金	3,221	2,749	△ 472	△ 14.7 %
売掛金	854	977	122	14.3 %
その他流動資産	928	1,515	586	63.2 %
流動資産合計	5,005	5,242	236	4.7 %
有形固定資産	16,870	24,585	7,714	45.7 %
無形固定資産	44	46	1	3.7 %
投資その他の資産	1,214	1,171	△ 42	△ 3.5 %
固定資産	18,129	25,803	7,674	42.3 %
資産合計	23,135	31,046	7,911	34.2 %
流動負債	4,386	5,233	846	19.3 %
固定負債	6,173	13,160	6,987	113.2 %
うち有利子負債(リース負債含む)	6,728	15,182	8,454	125.7 %
負債	10,559	18,393	7,834	74.2 %
資本金	2,769	2,791	21	0.8 %
資本剰余金	1,689	1,711	21	1.3 %
利益剰余金	8,269	8,357	88	1.1 %
自己株式	△ 247	△ 408	△ 160	— %
その他	94	200	106	113.1 %
純資産	12,575	12,652	76	0.6 %
1株当たり純資産(円 銭)	1,323.84	1,342.22	—	—

- 浅草ビューホテルや札幌ビューホテル大通公園の改装工事により、有形固定資産が増加
- 札幌ビューホテル大通公園の賃貸借契約により、リース資産(有形固定資産)ならびにリース負債(固定負債)が増加
- 新規ホテルの開業や既存施設の改修等の事業拡大のため、シンジケート・ローンにより長期借入金が増加

財務指標

(2018年4月30日現在)

自己資本比率 (%)		40.8
有利子負債	社債・借入金 (百万円)	9,808
	リース負債・割賦未払金 (百万円)	5,374
純資産 (百万円)		12,652
有利子負債 / 純資産倍率		1.20

- 2018年4月期末時点で、資産合計310.4億円、現預金27.4億円、有利子負債151.8億円、純資産126.5億円
- リース負債には、札幌ビューホテル大通公園の賃貸借契約に係るリース債務51億円を含みます



今後の新規ホテルの展開や改装などの設備投資に向けた
安全性の高い財務基盤

主な設備投資の状況

2017年9月

浅草ビューホテル

・1階フロント セカンドロビー



フロント セカンドロビー

札幌ビューホテル 大通公園

・グリルブッフェ&レストラン・バー オードリー新設



「オードリー」店内

2017年10月

札幌ビューホテル 大通公園

・客室61室新設



新設客室一例

2017年12月

浅草ビューホテル

・1階レストラン ファーストロビー



1階 新レストラン「薪火」

その他 ～主な安全・安心への取り組み～

浅草ビューホテル

- ・客用エレベーター3機更新工事
- ・受変電設備更新工事
- ・空調設備更新工事
- ・衛生配管更新工事
- ・宴会場パーティション更新工事

秋田ビューホテル

- ・ターボ冷凍機更新工事

成田ビューホテル

- ・客用エレベーター2機更新工事
- ・東館耐震補強工事

伊良湖ビューホテル

- ・空調設備更新工事
- ・防火シャッター修繕工事

両国ビューホテル

- ・空調設備更新工事

主な経営のトピックス

2017年 5月 札幌ビューホテル 大通公園 オープン

- ブッフェレストランを新設し、レストラン・バーを5ヶ所から2ヶ所に集約
- 客室を61室増室

2017年 5月 電子決済サービス「アリペイ」の導入 ～ インバウンド需要の取り込み施策 ～

- 中国国内で利用が伸びているアリペイを導入、中国人のインバウンド需要の取り込み

2017年 7月 自己株式の取得(2017年1月12日開催の取締役会決議) ～ 株主への一層の利益還元 ～

- 取得対象株式の種類／普通株式 / 取得期間／2017年1月13日～2017年7月31日
- 2017年7月末累計で297,600株を取得 (取得価格総額 408,270,100円)

2017年12月 浅草ビューホテル 1階ロビーフロア 全面リニューアルオープン

- ～旗艦ホテルを更に魅力的な空間に～ 新たなレストラン、ラウンジ、デリカコーナー、フロントを設置
- 「日本情緒をテーマとしたロビーフロアの改装」 ブランドイメージを高め、宿泊・料飲の売上の増進

2017年12月 高崎ビューホテル営業終了

- 2017年12月31日をもって営業を終了、2018年1月5日付けで株式会社グランビューへ営業譲渡

2018年 3月 施設管理室および調理運営室の新設

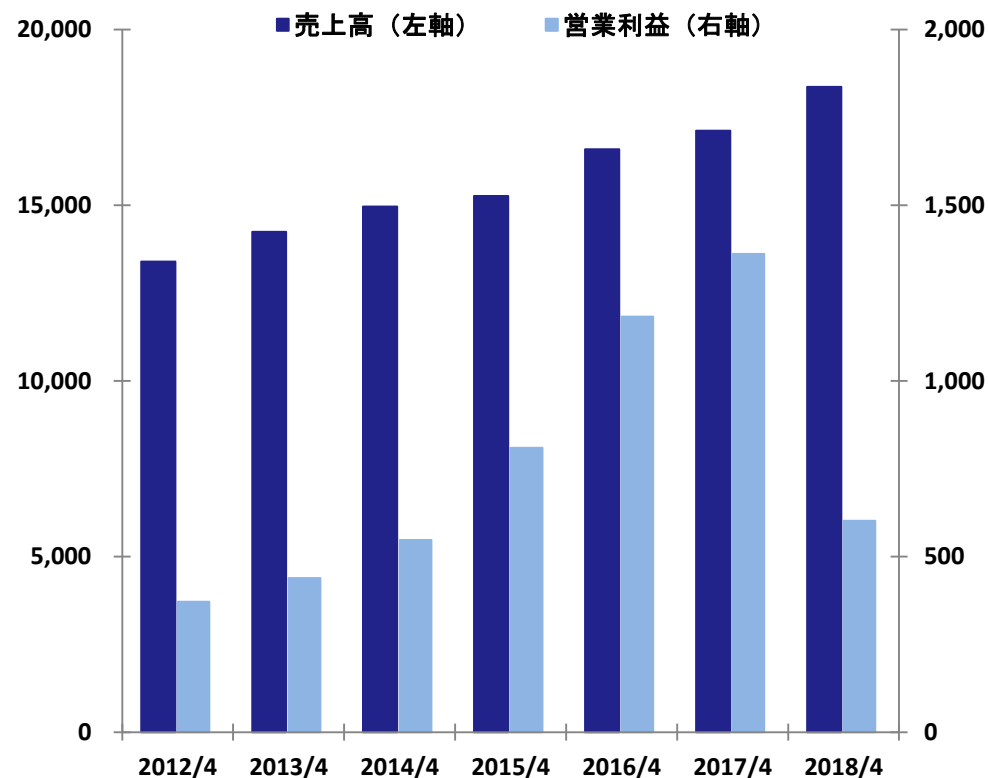
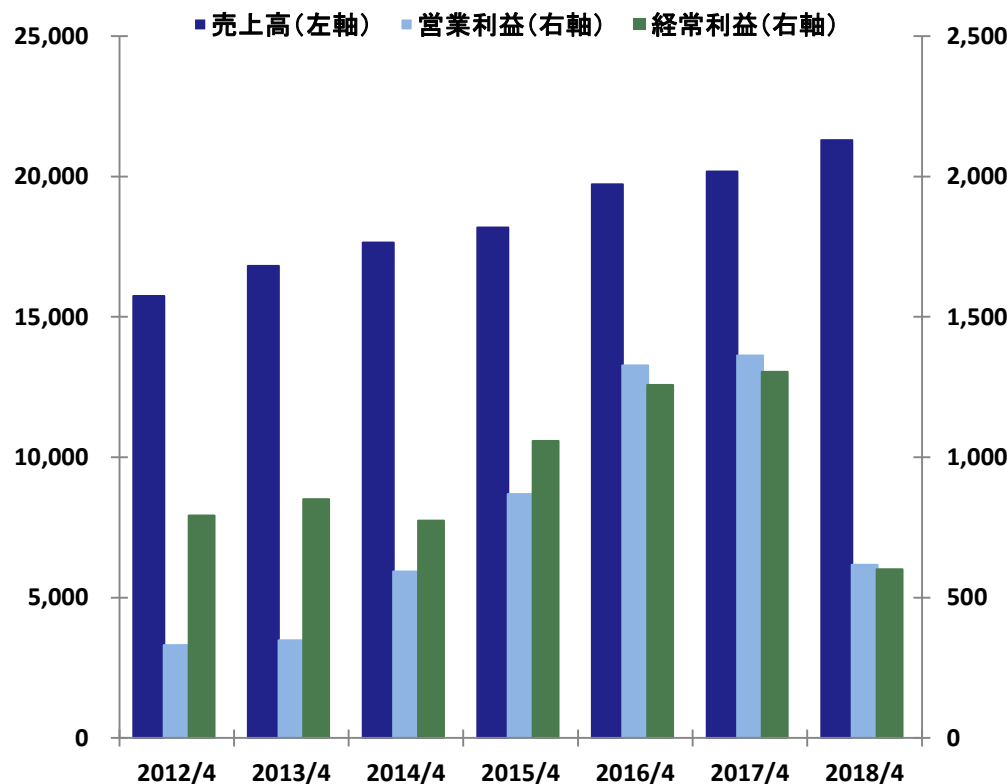
- 施設部門および料理部門の管理・運営の強化を目的として、新たに設置

連結業績の推移

単位:百万円	2012年 4月期	2013年 4月期	2014年 4月期	2015年 4月期	2016年 4月期	2017年 4月期	2018年 4月期
売上高	15,742	16,820	17,645	18,188	19,721	20,179	21,294
営業利益	331	348	593	869	1,327	1,362	617
経常利益	792	851	774	1,058	1,258	1,304	601
営業利益率	2.1%	2.1%	3.4%	4.8%	6.7%	6.8%	2.9%

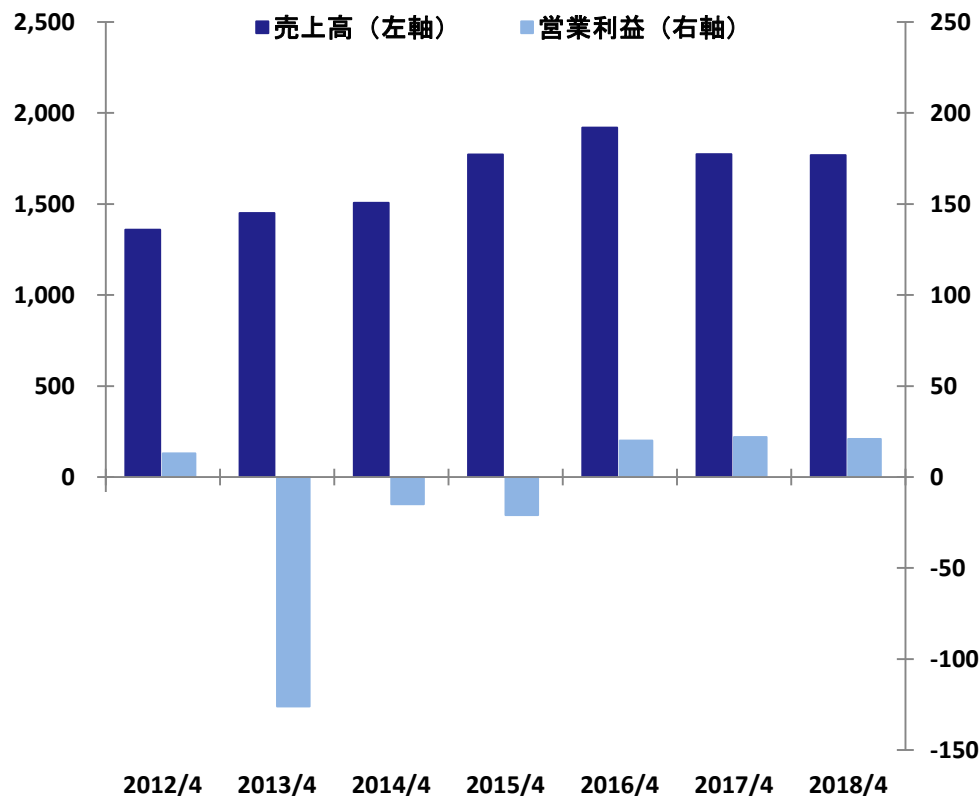
ホテル事業の推移

単位:百万円	2012年 4月期	2013年 4月期	2014年 4月期	2015年 4月期	2016年 4月期	2017年 4月期	2018年 4月期
売上高	13,394	14,242	14,963	15,263	16,592	17,116	18,365
営業利益	371	439	547	809	1,183	1,361	602
営業利益率	2.8%	3.1%	3.7%	5.3%	7.1%	8.0%	3.3%



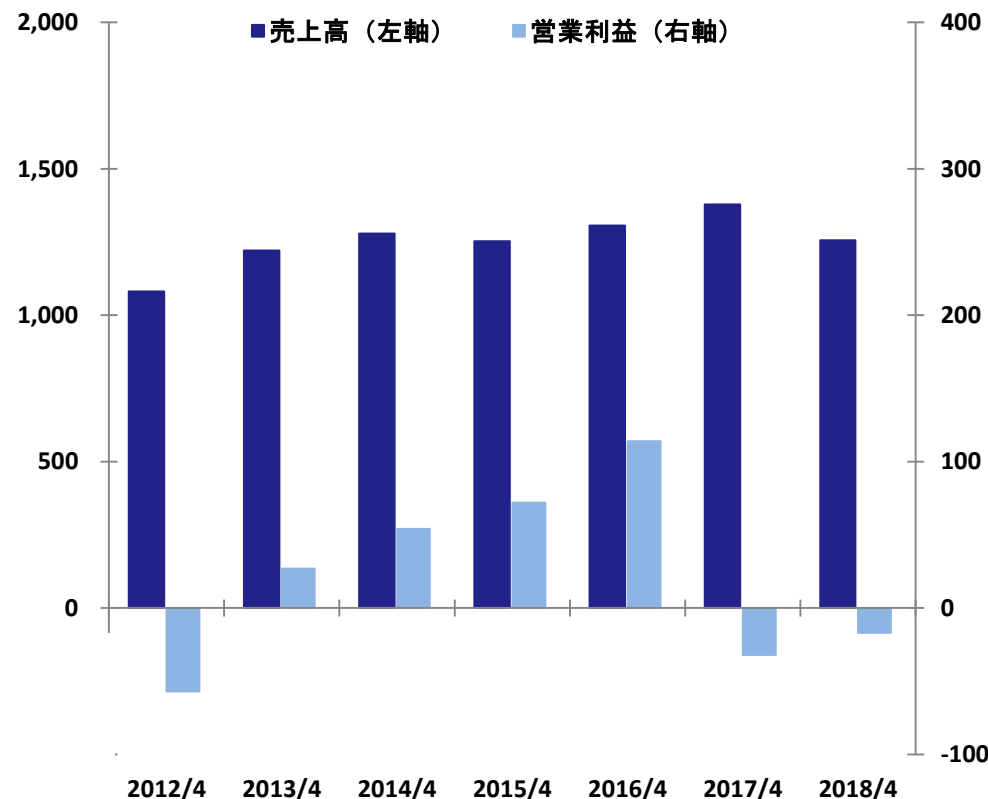
施設運営事業の推移

単位:百万円	2012年 4月期	2013年 4月期	2014年 4月期	2015年 4月期	2016年 4月期	2017年 4月期	2018年 4月期
売上高	1,358	1,451	1,506	1,771	1,919	1,773	1,768
営業利益	13	△126	△15	△21	20	22	21
営業利益率	1.0%	△8.7%	△1.0%	△1.2%	1.0%	1.3%	1.2%



遊園地事業の推移

単位:百万円	2012年 4月期	2013年 4月期	2014年 4月期	2015年 4月期	2016年 4月期	2017年 4月期	2018年 4月期
売上高	1,081	1,221	1,279	1,253	1,306	1,379	1,256
営業利益	△57	27	54	72	114	△32	△17
営業利益率	△5.3%	2.2%	4.2%	5.8%	8.7%	△2.3%	△1.4%



1 2018年4月期 業績の状況

2 **2019年4月期 業績予想**

3 配当と優待

4 補足資料

2019年4月期 連結業績予想 (2018年5月1日～2019年4月30日)

単位:百万円	2018年4月期 実績	2019年4月期 業績予想	増減	
			金額	率
売上高	21,294	22,000	705	3.3%
営業利益	617	800	182	29.6%
経常利益	601	650	48	8.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	297	300	2	1.0%
1株当たり当期純利益 (円 銭)	31.54	31.82	0.28	—

- **【新規事業所】**大阪VH本町が主として客室部門の売上に寄与。
- **【客室部門】**訪日外国人旅行者数の増加による需要の拡大基調が継続し、客室稼働率は高い水準で推移。改装工事に伴う営業上の影響もなくなり、売上の伸長を見込む。
- **【婚礼・宴会部門】**高崎ビューホテルの営業終了や婚礼受注の伸びが鈍化傾向にあり、減収予想。
- **【レストラン他部門】**レストランのリニューアル効果や改装工事などの営業上の影響もなくなり、売上の伸長を見込む。
- **【設備投資】**安全・安心のための機械・設備の更新工事を継続。大阪VH本町の開業経費を計上。
- **【経費】**労働人口の減少に伴う人件費の上昇を予想
- **【遊園地事業】**新たなアトラクション等の導入や広告・PR方法を見直し、収益力の向上を図る。

業績予想 / 第2次中期経営計画 目標値との差異

2019年4月期 (単位:百万円)	第2次中期経営計画 目標値	業績予想	差異
売上高	23,000	22,000	△ 1,000
営業利益	1,200	800	△ 400
経常利益	1,050	650	△ 400
営業利益率	5.2%	3.6%	△ 1.6%

【差異の要因】

- 2018年4月期連結業績の結果や経営環境の変化を踏まえた業績予想
- ・婚礼受注状況の推移
- ・遊園地事業の売上高の推移
- ・人材確保、人材育成のための人件費上昇を想定 他

今後の取り組み

- **【婚礼部門】**浅草VH、成田VH、秋田VHにリソースを集中させ、業績の向上を図る
- **【宿泊部門】**レベニューマネジメントのコントロール体制の集約化
- **【インバウンド】**多様な販売チャネルを活かしたインバウンド需要への対応
- **【遊園地事業】**本社営業部の管轄・機能を拡大して営業力を強化、社外コンサルタントを導入、新アトラクションや新たな広告・PR手法により集客力を強化
- **【人事制度改革】**労働力の安定化な確保、人材の登用・育成、外注人件費の低減
- **【新規出店】**国内主要都市をターゲットエリアとして、新規出店計画を推進
- **【設備投資】**安全・安心の取り組みを継続
- **【ブランド】**「ビューホテルらしさ」を軸としたブランドイメージ向上

2019年4月期の主な設備投資計画

第2次中期経営計画に基づいた、更なる安全・安心の追及

浅 草

- 高層階レストラン等 空調設備更新工事
- 消火設備更新
- エレベーター更新工事
- 3・4F厨房設備更新工事
- 給湯設備改修工事 等

成 田

- 本館エレベーター更新工事
- 各厨房冷蔵庫更新
- カードキーシステム導入 等

秋 田

- 衛生配管更新工事
- エレベーター更新工事
- 宴会場パーテーション更新工事 等

伊 良 湖

- 受変電設備更新工事
- 消火設備更新
- プール排水管更新工事 等

両 国

- 11F空調機更新工事 等

1 2018年4月期 業績の状況

2 2019年4月期 業績予想

3 **配当と優待**

4 補足資料

毎期の安定配当と持続的な企業価値の拡大によるトータルな株主還元

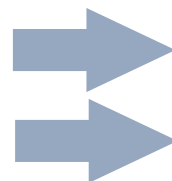
配当と成長戦略のバランス

株主還元

安定的な配当性向

成長投資

将来に亘る利益の拡大



トータルな株主還元の実現

直接的な利益還元

中長期的な株価上昇

配当の推移

配当性向は、成長戦略とのバランスを取りながら安定的に30%以上としていく方針

配当総額

192百万円

261百万円

212百万円

208百万円

213百万円

■ 記念配当
■ 普通配当

20 円

27 円

(5 円)

(22 円)

22 円

22 円

22 円

2015年4月期

2016年4月期

2017年4月期

2018年4月期

2019年4月期(予定)

株主優待内容/VHグループ直営施設にてご利用可能

ご利用に際しての制約を少なくし、利便性を高めるため金額優待券を採用
(毎年4月30日と10月31日現在の株主名簿に記載された当社1単元(100株)以上を保有されている株主様へ)

保有株式数	優待内容
100株以上300株未満	500円優待券 4枚(2,000円相当)
300株以上500株未満	500円優待券 6枚(3,000円相当)
500株以上	500円優待券 10枚(5,000円相当)

更なる利便性の向上を図るため、有効期間の延長を実施 (6ヶ月間→約1年間)
(2018年10月31日現在の株主様への優待より)

1 2018年4月期 業績の状況

2 2019年4月期 業績予想

3 配当と優待

4 補足資料

会社名	日本ビューホテル株式会社	
所在地	東京都台東区西浅草3-17-1	
設立	1953年5月4日	
代表者	代表取締役社長 遠藤 由明	
資本金	2,791百万円	
決算期	4月30日	
市場	東京証券取引所市場第一部	
従業員数	連結 980名、単体 803名 (嘱託・パート・アルバイトを除く)	
大株主 (持株比率)	ビューリック株式会社	26.83%
	株式会社立飛ホールディングス	5.94%
	名古屋鉄道株式会社	5.09%
	日本ビューホテルグループ 社員持株会	2.33%
	日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	1.85%
	※持株比率は発行済株式総数より自己株式数 (297,600株)を控除して計算しています。	

連結業績・資産	2017年4月期	2018年4月期
売上高	20,179百万円	21,294百万円
営業利益	1,362百万円	617百万円
総資産	23,135百万円	31,046百万円
純資産	12,575百万円	12,652百万円



創業
那須の開発

事業の拡大

経営の再建

新たな成長へ

1953年

那須観光株式会社設立

1960年

那須ビューホテル開業

1964年

那須興業株式会社設立

1965年りんどう湖ファミリー 牧場
(現 那須りんどう湖 LAKE
VIEW) 営業開始**1966年**日本ビューホテル株式会社
に商号変更**1968年**

伊良湖ビューホテル開業

1974年

成田ビューホテル開業

1977年ホテルビューパレス開業
日本ビューホテル事業
株式会社設立**1983年**

高崎ビューホテル開業

1984年

秋田ビューホテル開業

1985年

浅草ビューホテル開業

2001年

民事再生手続を申立

2005年

民事再生手続終結決定

2007年エムシーピースリー
投資事業有限責任組合
による 出資**2012年3月**

再生債務を期限前完済

2012年 5月

浅草ビューホテルレストラン 「武蔵」オープン

2014年 7月

東京証券取引所 市場第二部上場

清流の宿 おくたま路開業

2015年 3月

中期経営計画 策定 (2016年4月期～2018年4月期)

2015年 7月

東京証券取引所 市場第一 部指定

2015年10月

ヒューリック株式会社との資本・業務提携契約締結

2015年11月

両国ビューホテル開業

2016年7月

那須りんどう湖 LAKE VIEW 那須の恵み Mekke ! 開業

2017年 1月

第2次中期経営計画 策定 (2018年4月期～2021年4月期)

2017年5月

札幌ビューホテル 大通公園 開業

2017年12月

浅草ビューホテル 1階ロビーフロア全面リニューアルオープン

2018年 5月

大阪ビューホテル 本町 開業



浅草ビューホテルを旗艦ホテルとするホテル事業を中核に、宿泊・観光事業グループを形成

ホテル事業

直営によるVIEW HOTELブランドを展開するグループの中核事業

- コンセプトは、「ホスピタリティ」、「地域密着」、「ビュー(景色・ロケーション)」、「進化と変化」
- 「VIEW HOTEL」ブランドの直営ホテルを経営
- 浅草ビューホテルが旗艦ホテルとしてグループ業績を牽引
- 観光立国政策を追い風に、スカイツリーや日本文化に溢れる観光資源が優位性を拡大
- シティホテルとリゾートホテルを有し、宿泊、料飲、宴会・婚礼の各部門を営業、スパや温泉などで施設を充実



施設運営事業

低い事業リスクで宿泊施設をチェーン展開

- 「VIEW HOTEL」ブランド以外のホテルや旅館の経営の他、ホテルや旅館、保養所の運営業務受託、運営指導や「VIEW HOTEL」ブランドによるFC契約
- 投資リスクを抑えたチェーン展開



遊園地事業

認知度の高い那須りんどう湖 LAKE VIEW

- 栃木県那須高原にレジャー施設 那須りんどう湖 LAKE VIEW
- 広大な自然と那須高原唯一の湖を有し、動物、乗物、アトラクション、レストランや多彩なイベントを運営
- 那須高原を代表するレジャー施設として高い認知度



国内に19ホテル(提携含む)を運営(2018年6月現在)

ホテル事業



大阪ビューホテル 本町
2018年 5月22日オープン

施設運営事業

※下記の他、旅館1施設、保養所1施設の運営業務を受託



連結損益計算書

単位:百万円	2013年 4月期	2014年 4月期	2015年 4月期	2016年 4月期	2017年 4月期	2018年 4月期
売上高	16,820	17,645	18,188	19,721	20,179	21,294
売上原価	4,351	4,566	4,710	5,030	5,035	5,014
売上総利益	12,468	13,078	13,478	14,690	15,143	16,280
販売費・一般管理費	12,119	12,484	12,608	13,363	13,781	15,662
営業利益	348	593	869	1,327	1,362	617
営業外収益	667	327	335	96	148	160
営業外費用	164	146	146	164	206	176
経常利益	851	774	1,058	1,258	1,304	601
特別利益	11	2	0	112	3	27
特別損失	304	167	133	315	2,672	282
税金等調整前当期純利益	558	609	925	1,055	△1,363	347
法人税、住民税及び事業税	152	237	308	295	394	22
法人税等調整額	1	△46	29	53	-203	28
当期純利益	404	418	587	706	△1,554	297
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—	—	—	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	404	418	587	706	△1,554	297

連結貸借対照表

単位:百万円	2013年 4月期	2014年 4月期	2015年 4月期	2016年 4月期	2017年 4月期	2018年 4月期
現金及び預金	3,344	2,809	3,490	3,572	3,221	2,749
売掛金	722	666	659	869	854	977
その他流動資産	760	640	622	819	928	1,515
流動資産合計	4,827	4,116	4,772	5,260	5,005	5,242
有形固定資産	15,596	16,117	16,419	17,097	16,870	24,585
無形固定資産	1,436	1,425	1,414	1,405	44	46
投資その他の資産	408	293	259	399	1,214	1,171
固定資産	17,440	17,836	18,093	18,901	18,129	25,803
資産合計	22,268	21,953	22,866	24,162	23,125	31,046
流動負債	3,676	3,649	3,934	4,876	4,386	5,233
固定負債	5,946	5,154	4,813	4,742	6,173	13,160
うち有利子負債(リース負債含む)	6,519	5,939	5,684	5,580	6,728	15,182
負債	9,622	8,804	8,747	9,618	10,559	18,393
資本金	2,579	2,579	2,751	2,766	2,769	2,791
資本剰余金	1,499	1,499	1,671	1,686	1,689	1,711
利益剰余金	8,565	8,984	9,572	10,085	8,269	8,357
自己株式	—	—	—	—	△247	△408
その他	1	85	123	4	94	200
純資産	12,645	13,148	14,118	14,543	12,575	12,652
負債純資産合計	22,268	21,953	22,866	24,162	23,135	31,046

この資料は投資家の参考に資するため、日本ビューホテル株式会社(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、提出日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

この資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、この資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。